HOKUSAI MANGA
『北斎漫画』
Skeches by Hokusai

世界的に有名な芸術家は、ニッポンの元祖漫画家だった!?

浮世絵師の葛飾北斎(1760～1849)は日本が誇る芸術家(浮世絵師)です。19世紀後半、ヨーロッパを中心に「ジャポニズム」というブームが巻き起こる中、最も注目を集めた人物のひとりが葛飾北斎でした。特に富士山を描いた「冨嶽三十六景」シリーズは有名ですが、その他、目に映るものは何でも描いたと言われるほど、常に独自の画風を追求し、絵筆を握り続けていました。約70年にわたって描き続けた作品は、今もなお世界を魅了し続けています。

『北斎漫画 三編』雀踊り

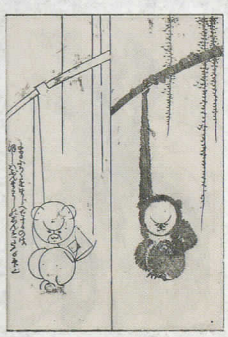
200年前に森羅万象を描いた世界に有名な『北斎漫画』

十五編からなる北斎の代表的な絵手本です。総図数は約3,900で、人間や自然、神仏妖怪など、あらゆるものが描かれており、「絵の百科事典」と呼ぶにふさわしい内容となっています。上の作品は江戸時代に流行した「雀踊り」という舞踊が描かれています。踊りの流れがわかるように、少しずつポーズを変えた踊り手が連続して描かれており、パラパラ漫画のような楽しさがあります。北斎ならではの発想は現在にも通じる点が多く、多彩な才能にも注目が集まっています。

『北斎漫画 十編』より

絵は定規とコンパスがあれば全て描ける!

北斎は6歳の頃から絵を描いており、風景や動植物、人の表情やしぐさなど目に入るものすべてを描こうとしました。絵を描き始めると、食事や眠ることも忘わすれてしまうほど、熱中して描いたそうです。また、北斎にはたくさんの弟子がいましたがその弟子たちに絵を教えるため、『北斎漫画』などの絵手本を数多く作りました。絵手本『略画早指南』中では、すべてのものはコンパスと定規があれば描けるという、絵の原理を伝えています。


『略画早指南』初編より猿

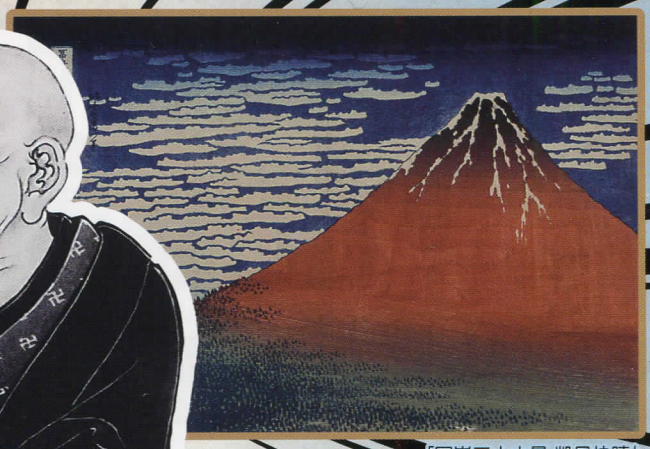
『略画早指南 初編』より

▼中央の点に合わせて円を描くと猿が描ける

『北斎漫画 十編』より

「The Great Wave」の作者HOKUSAI！

「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」



「冨嶽三十六景 凱風快晴」

Cool！

モネ

Wonderful!!

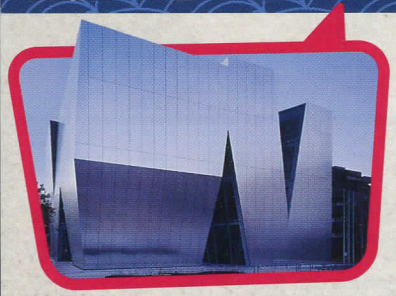
ゴッホ

参考図版：渓斎英泉 北斎肖像画

葛飾北斎は江戸時代後期に活躍した日本の芸術家です。「冨嶽三十六景」シリーズは代表作の１つであり、中でも「Great Wave」という名でも有名な「神奈川沖浪裏」は日本のみならず世界中に認知されている作品です。北斎は、生涯に約３万点もの作品を残していますが、このような作品の数々は、日本のみならずヨーロッパなど海外の絵画や音楽作品に多大な影響を及ぼしました。特に19世紀以後ジャポニズムがヨーロッパで広がり始めると、北斎の「冨嶽三十六景」シリーズから、インスピレーションを受けた芸術家の作品が生まれるようになります。有名なモネやゴッホも北斎の影響を受けた作品が残っています。北斎の大胆な構図と、日本独特の色遣いは、新しい刺激だったのかもしれません。

葛飾北斎 生誕の地に建つ すみだ北斎美術館

北斎専門の美術館！『北斎漫画』もタッチパネルで全編見られる！

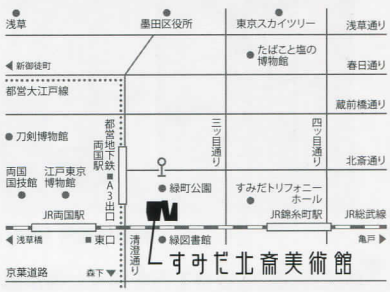


すみだ北斎美術館は、北斎とその弟子たちの作品を集めた専門の美術館として、東京都墨田区の北斎生誕の地に、2016年11月22日に開館しました。北斎は生涯のほとんどを、この墨田区で過ごしていることから、北斎作品を後世へ伝えるとともに、「すみだ」と北斎の関わりを紹介するなど、地域と世界とをつなぐ拠点となることを目的にしています。

©Forward Stroke

最新技術で復元した巨大な絵馬や、北斎アトリエの再現模型、錦絵を拡大して細部まで鑑賞できる4Kの高精細モニタなど、ここでしか観覧できない最新設備を常設して、様々な角度から北斎の魅力をお伝えしています。

すみだ北斎美術館

〈住所〉
〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
〈お問い合わせ〉
03-5777-8600（ハローダイヤル）

HP http://hokusai-museum.jp/
https://twitter.com/HokusaiMuseum/
https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/